

男性のスカート着用に関する研究

A19AB080 高橋 直

1. はじめに

近年、世界各地で男性がスカートを着用する動きが広がっており、これはジェンダーの多様性やファッションにおいて自由な表現を求める社会の変化と関連していると考えられる。

また、文部科学省からの「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」の通知以降、学校では生徒が自認する性別の制服着用を認める動きや、ジェンダーレス制服の採用が急速に広がっている。そのような時代を背景に、図1に示したように女子生徒用に「スラックス」を採用するだけでなく、男子生徒用に「スカート」の着用を許可する学校も出てきている。(図1)



図1 ジェンダーレス制服

本研究では、そのような中で男性のスカート着用に関する社会的な現象に焦点を当て、その影響と課題について探求した。まず男性のスカート着用が広まる背景となる社会的要因を明らかにし、男性がスカートを着用することによってどのような印象が生まれるかについて調査を行った。また、男性のスカート着用に対する社会の受容度や偏見についても深く探求することで、現状の課題を把握することとした。

さらに、実際に男性が丈の異なるスカートを着用した画像による視覚評価実験を行い、評価に関与する要因を検討した。

2. 方法

2-1 男性のスカート着用に関するアンケート

男性のスカート着用に関する意見を集約するために145名の被験者にGoogleフォームにてアンケートを実施した。

質問内容は全14項目である。

2-2 スカート着用男性の視覚評価実験

67名の若年女性を被験者としてスカート丈の異なる図2のような7種の男性のスカート着用画像を提示し、以下の項目について調査を行った。

①男性的な—女性的な【10段階評価】②好きな—嫌いな【10段階評価】③このスカートを男性が着用することをどう思うか【誰が着用してもよい・人による・誰であっても着用は好きでない・その他(択一)】④誰なら着用してもよいと思うか【アイドル・友人・兄弟・父親・恋人(複数回答可)】

3. 結果および考察

3-1 男性のスカート着用に関するアンケート結果

まず、男性のスカート着用をどう思うかについて、55.2%の被験者が、誰が着用してもよい、37.2%が人によるとかなり容認傾向が強く、誰でも好きではないは7.8%のみであった。

しかし、図2に誰なら着用してもよいかの問いの結果を示したが、アイドルの回答が最も多く96.5%、友人は80.9%と容認しているが、兄弟、恋人、父親についてはいずれも半数以上が反対している。

次に図3にどのような年齢なら着用してもよいかについては、20歳代と大学生は90%程度が容認しており、次いで高校生、幼児、小学生、中学生と続き、ジェンダーレスに起因するというよりも、ファッションとして捉えている人が多いと考えられる。

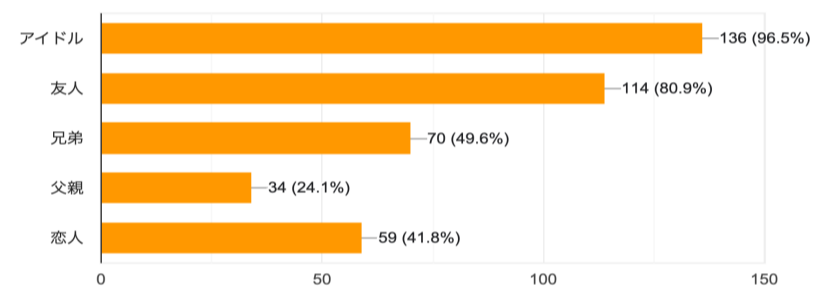


図2 誰なら着用してもよいか(複数回答可)

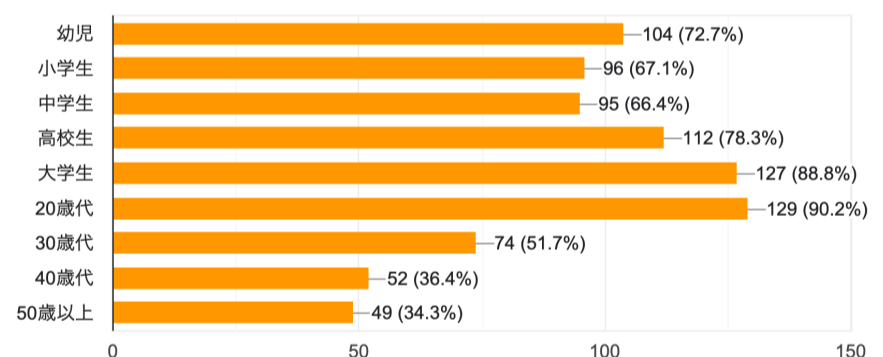


図3 どのような年齢なら着用してもよいか(複数回答可)

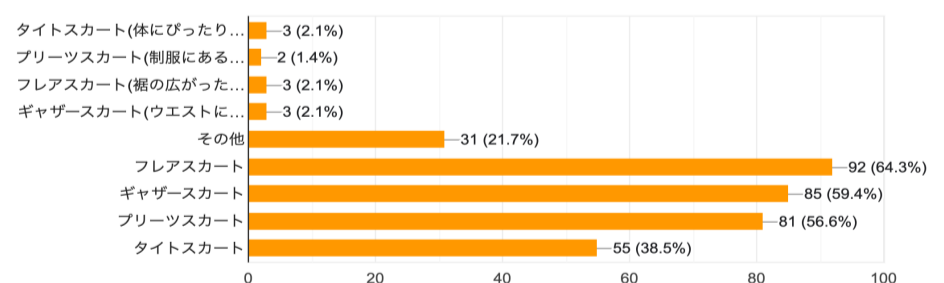


図4 どのようなデザインならよいか(複数回答可)

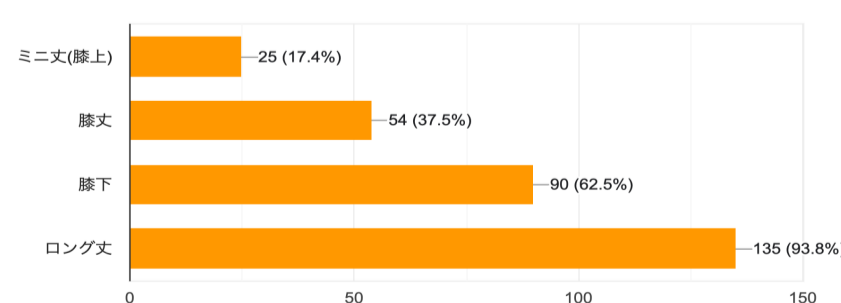


図5 着用する場合のスカート丈は(複数回答可)

3-2 スカート着用男性の視覚評価実験結果

次に、実際に男性が丈の異なるスカートを着用した画像による視覚評価実験について、それぞれ異なる雰囲気やデザイン、アイテムとの組み合わせから図6の7つを選出した。

図7の実験結果から、スカートの丈が長くなるにつれて好きなの平均評価が高くなっており、着用が誰でもよいという出現率も高いことが図8で判明している。

しかし、類似した丈の長さでも着用が好きでないという出現率にばらつきがあることから、スカートのデザイン性や合わせるアイテムによっても異なると考えられる。図9の誰が着用してもよいかについては、友人の出現率が平均的に同様であることから、一部の有名人やファッションアイコンが公然とスカートを着用し、そのスタイルが注目を浴びていることで、身近にいる一般男性のスカート着用にも影響を与え、受け入れられつつあると考えられる。スカートを着用した男性の外見が、伝統的なジェンダー観念とどれだけ一致または逸脱するかが、被験者の評価に対する既存の社会的期待が外見に強く影響を及ぼすことを示唆している。

また、被験者の異なる年代によって外見の評価に対する社会的態度が異なることがわかった。



図6 スカート着用男性の視覚評価実験試料

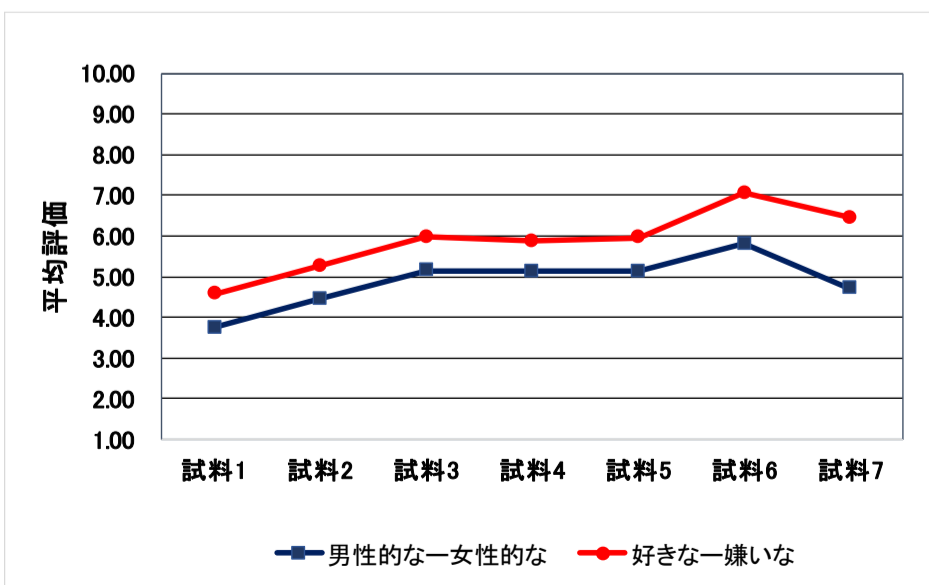


図7 視覚評価実験結果

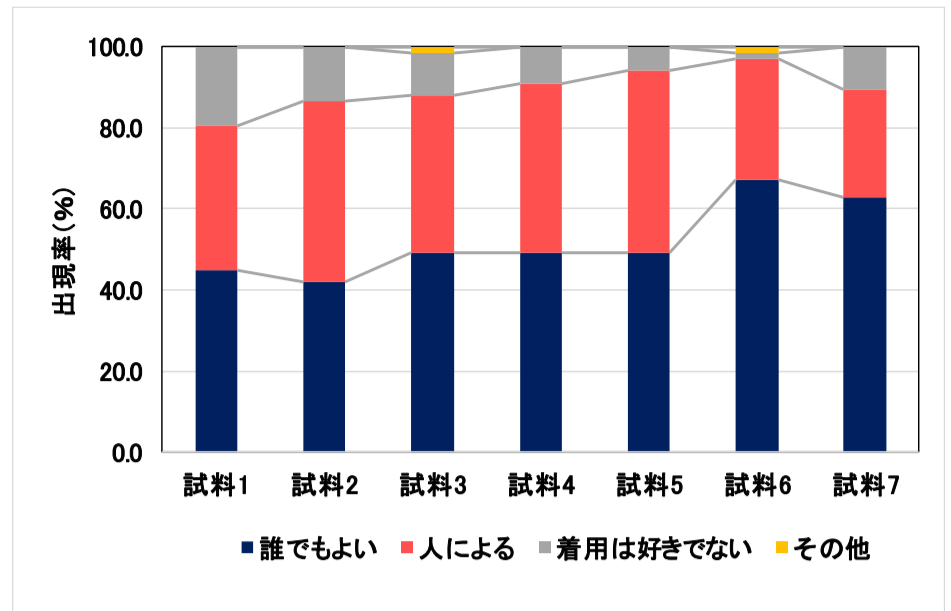


図8 男性が着用してもいいですか

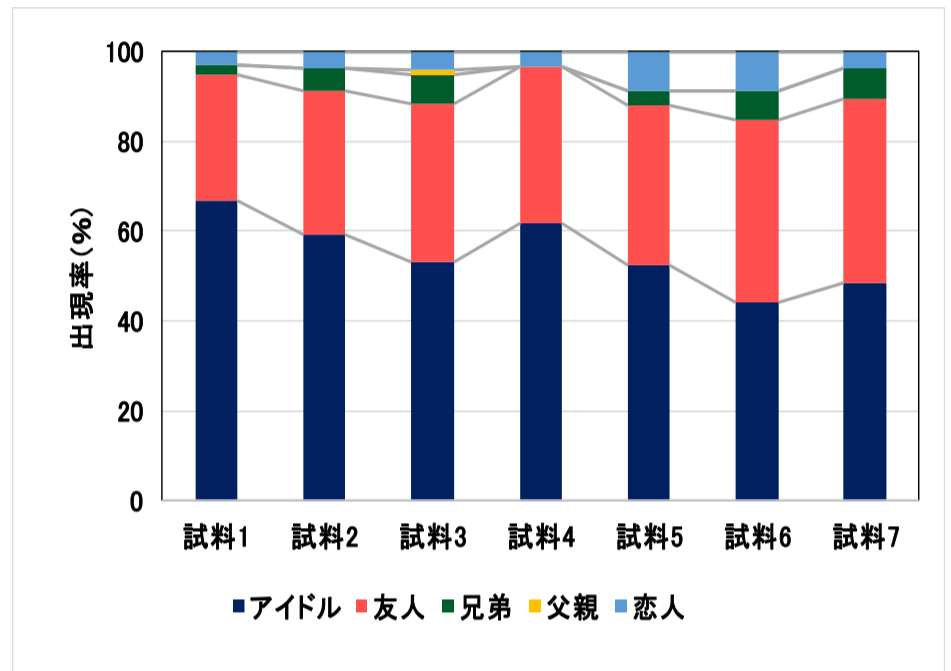


図9 誰が着用してもよいですか

4. おわりに

現代のファッショントレンドでは、男性がスカートを着用する傾向が徐々に広がっており、ジェンダーフリーファッションの流行が高まり、性別に基づく伝統的なファッションの境界が緩和されつつあるといえる。

また社会的な受容の進展も大きな要因である。性の多様性や性自認への理解が広がり、個々のアイデンティティやスタイルを自由に表現する文化が根付いてきている。ファッションブランドも、ジェンダーニュートラルなアイテムを提供することで、男性に対するスカートの選択肢を増やしているといえる。

今後ジェンダーレス制服を体験してきた若者が20歳代になっていったとき、ファッションの世界における多様性と受容はさらに進展していくと考えられる。

5. 参考文献

- 1) 男子もスカート選択可能に 中学校で「ジェンダーフリー」制服お披露目 <https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/190412?display=1&mwplay=1> (2022)
- 2) カンコー学生服HP <https://kanko-gakuseifuku.co.jp/media/homeroom/vol211> (2023)